

ワーカーズコレクティブ千葉県連合会第14回通常総会 連合会設立20周年 改めて連合会の役割とは…

5月22日ワーカーズコレクティブ千葉県連合会の通常総会を生活クラブ虹の街本部にて開催しました。議決権は各事業所1票ですが、来賓、オブザーバーを含め51名が参加しました。午後から研修会を行い2013年度をスタートしました。



宮野さん

(向かって前列左より) 庄さん、風間さん、北田さん、渡辺さん、竹内さん。
(後列左より) 江口さん、志垣さん、長谷川さん、浜さん、亀本さん、糸櫻さん。

「今年度は連合会設立20周年、改めて連合会の役割を考えていきたい。経済低迷の時代に単体ではできないことも連携することでできることがある。W.Coは理念の集団ではなく、実践をもって社会に示していける強みを持っている。第2次中期計画にむけて、みんなが納得できるよう議論を尽くしていきたい」という北田理事長の挨拶でした。

2012年度は既存のW.Coが起点となって拡大を成し遂げました。

まだれ一ぬ、ういづが他の地域にランチを作り、活動を広げました。また、長年の悲願であった全デポーのワーコレ化も達成して、(企)W.Co樹が誕生しました。

活発な質問や情報共有についての提案、意見が出され、全員が主体的な関わりを持つ、W.Coならではの総会でした。



2013年度 W.Co千葉県連合会理事会メンバー

	氏名	事業所及び所属団体
理事長	北田恵子	NPO W.Coういづ
副理事長	風間由加	(企)ワーカーズ・結
専務理事	渡辺伽奈	(専任)
理事(東葛エリア長)	浜たづ子	(企)わーかーず・あい
理事(京葉エリア長)	糸櫻尚代	(企)W.Co樹
理事(下総エリア長)	長谷川利恵	(企)W.Coハーブ
理事(食部会長)	江口敬子	(企)W.Co菜の花
理事(ショップ部会長)	志垣陽子	(企)W.Co回転木馬
理事(受託部会長)	亀本正美	(企)W.Co樹
専任理事	宮野洋子	(企)W.Co紙ふうせん
監事	庄 妙子	生活クラブ虹の街
監事	竹内悦子	市民ネットワーク千葉県

これからはワーカーズの時代!!

「W.Coと生活クラブのこれから～コミュニティ経済の担い手として」という題目で、生活クラブ生協の庄妙子政策調整室長を講師として、学習会が開催されました。

千葉大学広井教授の著書から、今や人口減少、少子高齢化、経済低迷の中で産業構造が変容し、グローバル化から小さなエリアで循環するローカル化の時代。資本主義経済に代わり「コミュニティ経済」へ移行。よって株式会社から新たな「組織」に代わる必要があり、まさに「ワーカーズ」がふさわしいということでした。

庄さんは、社会を変えていくには、「モデルをつくること」と、私たちの第2次中期計画策定における提言と大きな期待をいただきました。生活クラブ千葉グループをはじめとする地域のあらゆる資源を使って、福祉・環境・経済を統合した「現代版鎮守の森」を作っていけるといいですね。

(企)W.Co樹 理事 糸櫻尚代

5/22 研修報告



20周年記念

W.Coの総力が集結!エンディング相談会

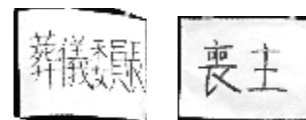
人生の最期をW.Coにお任せください

「W.Coの葬儀」を知ってみたいと、3月9日、生活クラブ虹の街センター柏を会場に、エンディング相談会を開催しました。W.Co千葉県連合会20周年最後の行事でもあります。

模擬葬儀を中心に、通夜ぶるまい、生前・遺品整理、自分史作成など、エリアごとに担当し、専門性をもったW.Coの資源を連携し、披露しました。



「生前相談をサポートと…」本当の場面みたい!



こんな手書きの札を下げます

下総 上手にできたかな? 葬儀委員長役

下総エリアで担当したのは「模擬葬儀」です。エンディングサポート風*が準備した台本に沿って、生前相談から自宅葬儀を設定し、台詞を入れて実際にどのように進んでいくのかをお芝居にしました。



手描きの花をバックに祭壇も準備しました。これら大道具、小道具もあり、来場の皆さんに、W.Coの葬儀がわかりやすく伝わったのではないかと思います。

(企)ワーカーズ・結 山崎恵美子

東葛 通夜ぶるまい



生活クラブの消費材と地場野菜だから季節によっても違うのよ

食部会の「おもてなしパンフレット」に掲載のてんぷら・揚げ物・煮物・お寿司のオードブルと紙箱入りのお弁当を出しました。美味しい、もっと食べやすい形が良い、生寿司が良い等の感想が出ました。

食部会長 江口敬子(菜の花)



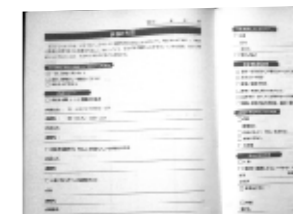
京葉 自分史相談コーナー

家族の思い出や米寿などのお祝いに、また葬儀や一周忌などに故人を偲ぶものとして、日記や趣味の作品などを形に残してみませんか。そんな思いで「自分史相談コーナー」を企画しました。自分史の見本やパンフレットなどを展示。中でも父親の四十九日に配った自筆の遺稿集が、B5判8頁という手軽さもあって好評でした。



編集ワーカーズ・くれよん 猪俣悦子

エンディングノート



「"もしも"の時は年齢に関係なく、いつやってくるかわかりません。このノートは"もしも"の時に備えて、身近な人へ自分の思いを伝えるためのノートです。」から始まるエンディングノートは、W.Co生活クラブFPの会が監修しています。

自分の情報を書き遺しておくだけではなく、自分自身を整理し、自分の最後とその後がどうありたいか、を考えまとめていくことにもつながります。

A4判/40頁/570円(税別)



*W.Coエンディングサポート風は2012年度をもってW.Co千葉県連合会を退会しました。W.Coの葬儀サポート事業は引き続き準備を進めています